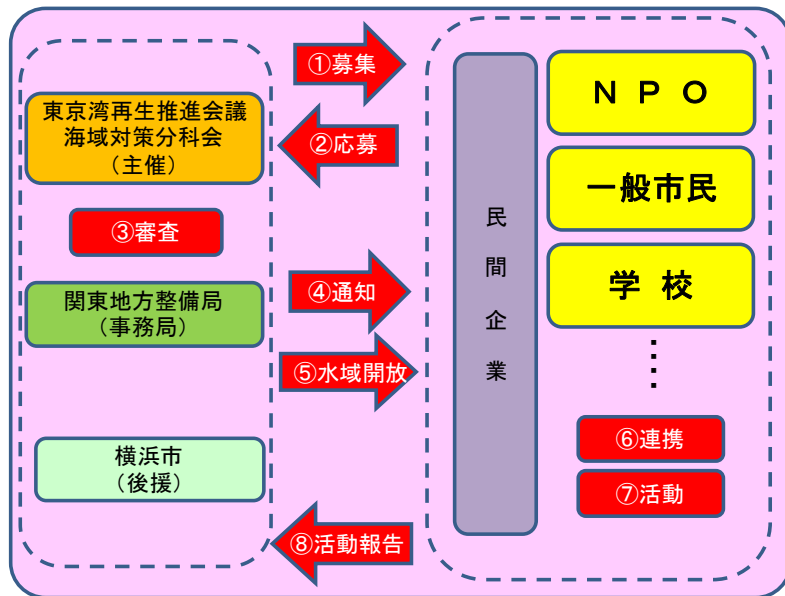




～東京湾・海をみんなで愛するプロジェクト～
(通称:UMIプロ)

東京湾再生推進会議 第二期行動計画において海域環境改善に向けた取組として掲げている「NPOや企業、漁業者等による藻場等の造成を推進する」に基づき、東京湾の公共水域において多様な主体と連携・協働してアマモ場再生に取り組み、人々の海への理解や関心を高める活動。
(主に横浜市金沢区の水域にて活動)

《活動の流れ》



UMIプロジェクト認定企業
(H25年11月認定)

一般財団法人セブン-イレブン記念財団

協力企業

東洋建設株式会社 (H27年3月～)

マルハニチロ株式会社 (H28年3月～)

東京ガス株式会社 (H29年4月～)

令和2年度は
認定企業1者、協力企業3者の4者が活動中!

令和2年11月29日にアマモ場再生の実証試験場として、臨港パーク潮入の池前面に浅場を整備してアマモの種まきを行った。



<黒岩神奈川県知事に種まきを行っていただきました。>



<参加者集合写真>

〈概要〉

- 開催日時 令和2年12月25日（金）
- 開催場所 関東地方整備局港湾空港部（横浜第二合同庁舎14階）と横浜市立金沢小学校体育館でのオンライン開催
- 参加者 金沢小学校児童 みなとみらい本町小学校児童3年生、金沢八景一東京湾アマモ場再生会議、東京湾の環境を良くするために行動する会、NPO法人海辺づくり研究会、国土交通省(関東地方整備局)

12月25日に、横浜市立金沢小学校の児童達がサンタクロースに扮し、アマモメッセンジャー（アマモに東京湾再生へのメッセージを込める者）として、アマモの種を届けてくれました。今年は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、参加者及び関係者はマスクを着用し、プログラムの一部をオンラインで実施しました。当日は海辺づくり研究会の木村尚さんの授業や児童らの発表を通して交流を深めました。いただいたアマモの種は、金沢区海の公園近くの柴漁港で苗まで育てられ、東京湾UMIプロジェクト活動として臨港パーク前面海域浅場等に移植されます。



〈金沢小学校会場〉



頂いたアマモの種



〈参加者集合写真〉